【　福生市　】　胃がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞

対象年齢（50歳以上：隔年）	している
検査方法（胃部X線または内視鏡検査）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	胃部X線（35～39歳）
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	16,807	17,865	34,672
【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.2%】			
実際の受診者数	285	318	603

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.0%	3.2%	3.1%
要精検率	11%以下	1.8%	0.3%	1.0%
精検受診率	70%以上	40.0%	100.0%	50.0%
精検未把握率	10%以下	60.0%	0.0%	50.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	20.0%	0.0%	16.7%
がん発見率	0.11%以上	0.35%	0.00%	0.17%

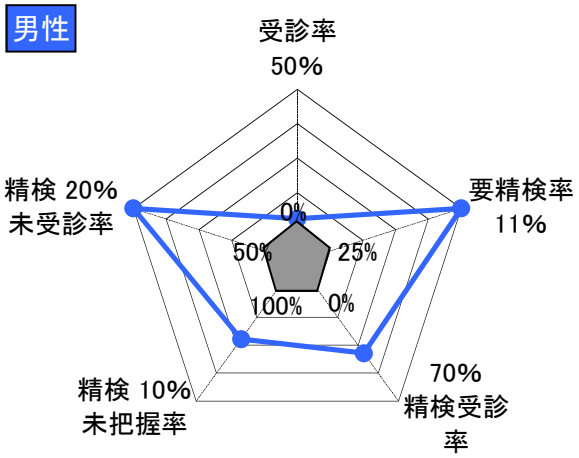
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」＞

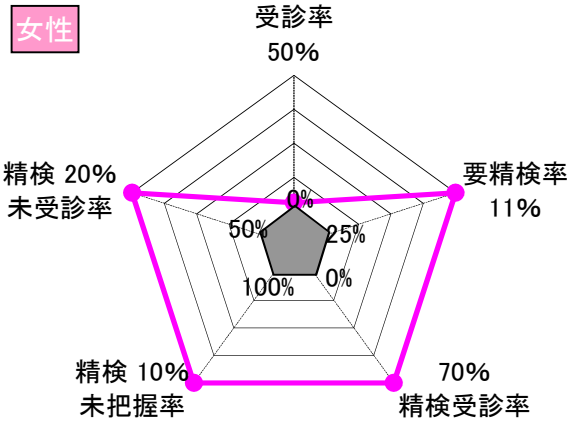
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

※〈国の指針に基づく胃がん検診の実施状況〉〈国の指針に基づくもの以外の実施状況〉〈区市町村の受診率向上（精検含む）体制〉は平成28年度の状況である

【　福生市　】　肺がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく肺がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	16,807	17,865	34,672
【東京都調査による対象者率（市町村部）：63.5%】			
実際の受診者数	274	296	570

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.6%	2.6%	2.6%
要精検率	3%以下	0.7%	0.3%	0.5%
精検受診率	70%以上	0.0%	100.0%	33.3%
精検未把握率	10%以下	50.0%	0.0%	33.3%
精検未受診率	20%以下	50.0%	0.0%	33.3%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

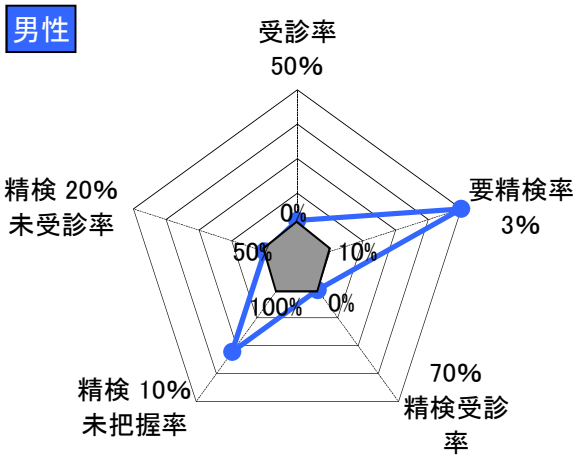
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」＞

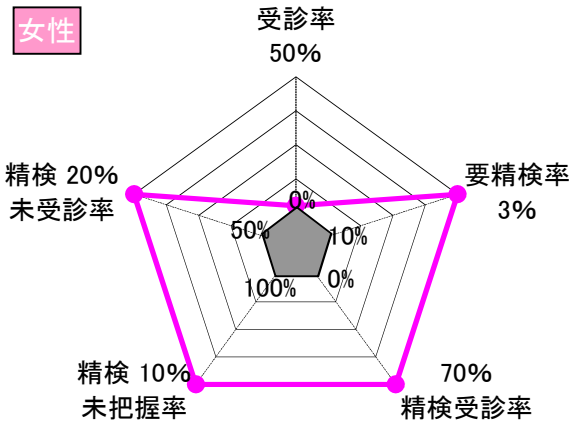
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

＜精検未受診率＞

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

※〈国の指針に基づく肺がん検診の実施状況〉〈国の指針に基づくもの以外の実施状況〉〈区市町村の受診率向上（精検含む）体制〉は平成28年度の状況である

【　福生市　】　大腸がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	16,807	17,865	34,672
【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】			
実際の受診者数	3,328	4,961	8,289

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	33.2%	46.6%	40.1%
要精検率	7%以下	11.5%	8.6%	9.8%
精検受診率	70%以上	54.3%	56.2%	55.3%
精検未把握率	10%以下	29.2%	26.0%	27.5%
精検未受診率	20%以下	16.4%	17.8%	17.2%
陽性反応適中度	1.9%以上	2.1%	2.3%	2.2%
がん発見率	0.13%以上	0.24%	0.20%	0.22%

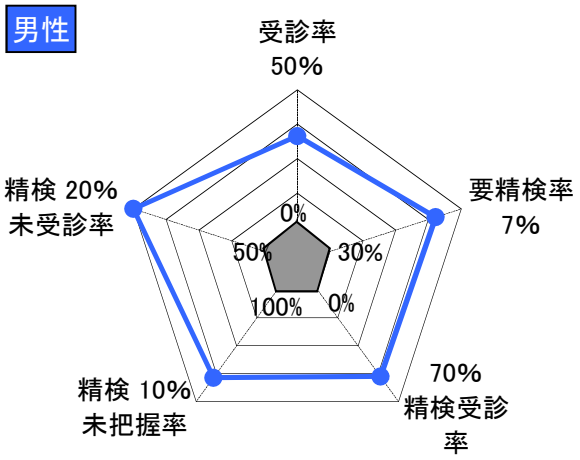
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」＞

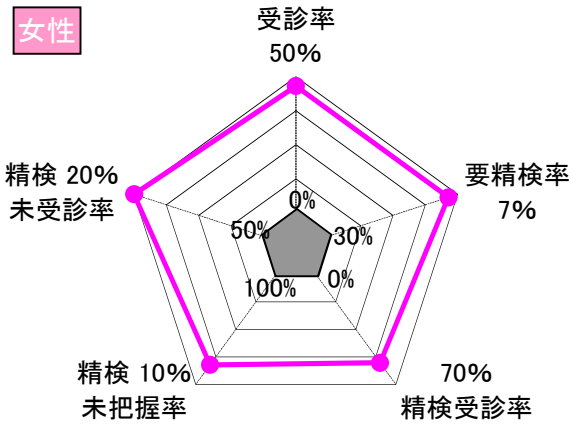
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

※〈国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況〉〈国の指針に基づくもの以外の実施状況〉〈区市町村の受診率向上（精検含む）体制〉は平成28年度の状況である

【　福生市　】　子宮頸がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況＞

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		24,735	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：60.4%】			
実際の受診者数		990	

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

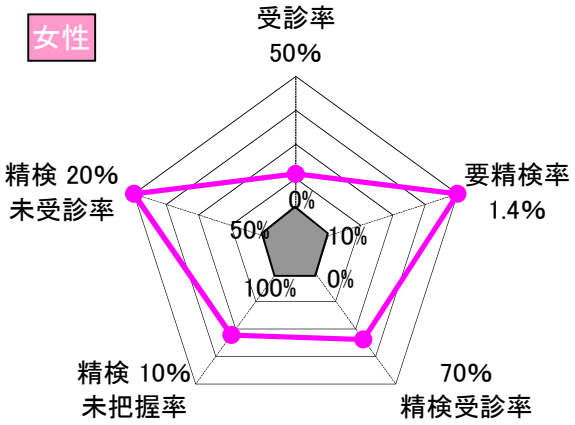
	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		14.2%	
要精検率	1.4%以下		1.2%	
精検受診率	70%以上		41.7%	
精検未把握率	10%以下		50.0%	
精検未受診率	20%以下		8.3%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.0%	
がん発見率	0.05%以上		0.00%	

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」＞

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

※〈国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況〉〈国の指針に基づくもの以外の実施状況〉〈区市町村の受診率向上（精検含む）体制〉は平成28年度の状況である

【 福生市 】 乳がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく乳がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		17,865	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：63.9%】			
実際の受診者数		998	

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

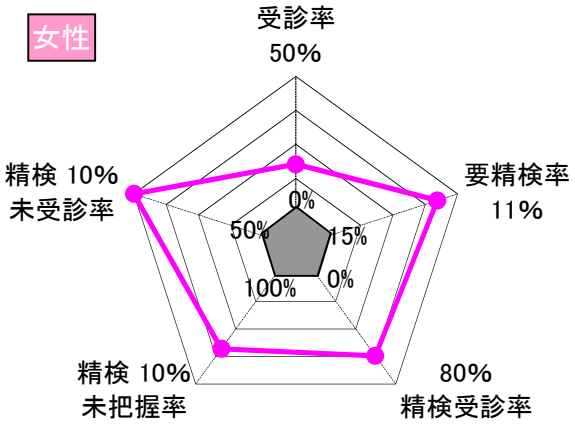
	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		17.7%	
要精検率	11%以下		11.6%	
精検受診率	80%以上		59.5%	
精検未把握率	10%以下		38.8%	
精検未受診率	10%以下		1.7%	
陽性反応適中度	2.5%以上		7.8%	
がん発見率	0.23%以上		0.90%	

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」＞

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

※〈国の指針に基づく乳がん検診の実施状況〉〈国の指針に基づくもの以外の実施状況〉〈区市町村の受診率向上（精検含む）体制〉は平成28年度の状況である